

登録コード	L1541400	開講年度	2026				
担当教員	高瀬 弘樹			副担当			
授業科目	心理学発展演習Ⅱ						
英文授業名	Psychology: Advanced Seminar I						
授業タイトル							
単位数	2	対象学生	2～4	講義期間	後期	曜日・時限	水曜・3時限
講義室	人文501演習室		遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			⇔	【授業の達成目標】		
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ						
	【2023年度以降加修対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。 【思索力・受容力・批判力】			⇔	人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力を身につけられる。		
	【2023年度以降加修対象】専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身についている。 【開拓力・企画発想能力】			⇔	専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力を身につけられる。		
授業で学べる「テーマ」	その他						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	興味のある研究論文を各自で選び、それをレジュメの形にまとめ、発表し、興味深い点や問題点について全員で討論を行う。主に授業内で指示した雑誌リストから論文（原則として英語論文）を検索し、論文を読み、発表を行う。						
授業計画	第1回：ガイダンス 第2回：研究構想の発表 第3回：研究論文の発表と討論(1) 第4回：研究論文の発表と討論(2) 第5回：研究論文の発表と討論(3) 第6回：研究論文の発表と討論(4) 第7回：研究論文の発表と討論(5) 第8回：研究論文の発表と討論(6) 第9回：研究論文の発表と討論(7) 第10回：研究論文の発表と討論(8) 第11回：研究論文の発表と討論(9) 第12回：研究論文の発表と討論(10) 第13回：研究論文の発表と討論(11) 第14回：研究論文の発表と討論(12) 第15回：まとめ、授業アンケート 定期試験：なし						
成績評価の方法	発表の質（70%）と討論への参加度（30%）により、心理学研究についての理解度を評価する。						
成績評価の基準	発表については、以下6項目の達成度から評価する。 1. 適切な発表資料を作成している 2. 研究論文の目的を正確に理解している 3. 研究論文の方法を正確に理解している 4. 研究論文の考察を正確に理解している 5. 研究論文の論旨を正確に理解している 6. 研究論文の内容を批判的に読むことができる 6項目すべてを満たし、かつ討論に積極的に参加していれば、「卓越している」、5項目を満たし、かつ討論に積極的に参加していれば、「かなり上にある」、4項目であり、かつ討論にやや積極的に参加していれば「やや上にある」、3項目であり、討論に参加していれば「その水準にある」と評価する。						
事前事後学習の内容	発表者は事前に発表資料（動画やスライド等）を作成し、eALPSまたはMicrosoft Teamsにアップすること。受講生は事前に発表資料を用い予習を行うこと。また、授業後にeALPSまたはMicrosoft Teams上で発表に対する質疑応答を行う。						
履修上の注意	心理学・社会心理学コースの心理学研究室に所属する2年生は本演習を履修するようにすること。心理学研究室で卒業論文を書く予定の学生（3、4年生）の履修も歓迎する。なお、受講を希望する学生数によっては履修制限を行う場合がある。また、心理学実験で使用する機材について学ぶ機会を設ける。						
質問、相談への対応	火曜日の12:30から13:20をオフィスアワーとする。研究室の場所は人文学部棟5階。相談のある学生は、事前にメールにてアポを取る。アドレスは、takaseh (at) shinshu-u.ac.jp						
教科書	使用しない。						
参考書	授業時に適宜紹介する。						